



看護師 青野 浩長

2018年度 4次隊



派遣国：ブータン王国

期間：2019年 7月～2020年 3月

自己紹介

協力隊への参加動機

年齢：42歳
出身：藤枝市

途上国の人々に対して、些細な事でも今の自分に出来る事を行いたいと考えたからです。

ブータンの伝統衣装

男性：ゴ

男性用は一見すると着物に似ている。
女性の服はとてもきらびやか。

女性：キラ





仏教国 ブータン

ブータンは生活に仏教が深く浸透しており、敬虔な仏教徒は多い。様々な場所に仏教に関連した寺院がある。

← メモリアル・ チョルテン

第三代国王を記念した仏塔形式の寺院。毎日のように参拝に来る人も多い。

タクツァン僧院 →
標高約3000mにある有名な古刹。垂直に切り立った岩壁に建っている。

← マニ車
回すと功德がある経典が納められた筒。寺院の外壁などに備え付けられている。



ブータンの食事



ブータン人は、野菜や肉などを煮込んだ料理をご飯と一緒に食べます。中でも唐辛子料理が伝統食で、唐辛子（エマ）とチーズ（ダツィ）を煮込んだ『エマ・ダツィ』が最も代表的な料理です。基本的にどの料理もご飯に合うように塩辛くて美味しいのですが、とても辛いです！！



『モモ』と呼ばれる、チーズか牛肉入りの蒸し餃子に似た物もよく食べます。味付けは淡泊なので唐辛子入りの漬けダレと共に頂きますが、やはり辛いです。自分は辛い物があまり得意ではありませんでしたが、慣れていく内に辛い物が無いと物足りなくなりました。

活動場所

JDWNRH : ジグミ・ドルジ・ワンチュク国立病院



首都ティンプーにある、国内最大の総合病院。新型コロナ対応の第一線の病院でもある。

←

→

成人集中治療室に配属され、活動を実施する。



AICU : 成人集中治療室



現地での活動

成人集中治療室スタッフの看護技術や知識の向上、病棟の環境改善、手順書や指導方法の見直し等を通して、医療レベルの底上げを目指して活動していました。



突然の活動終了...

病棟は新型コロナ患者対応の最前線でもあり、活動以外にも新規閉鎖病棟への機材や物品準備等、現地スタッフと協力して実施しました。しかし新型コロナの世界的な蔓延の為に緊急帰国となり、未実施の活動は多く残っていた事がとても残念です。



協力隊に参加して、自分の中での変化

歴史や文化、習慣、考え方の違うブータン人との交流や、共に実施していった活動を通してお互いに信頼関係を築く事ができ、相互理解の大切さを学ぶ事が出来ました。また他者と相談しながら試行錯誤を繰り返し、協力しながら問題に取り組んでいく事の大切さや、不便な中でもあるもので何とかしようとする創意工夫の思考が養われたと感じています。

